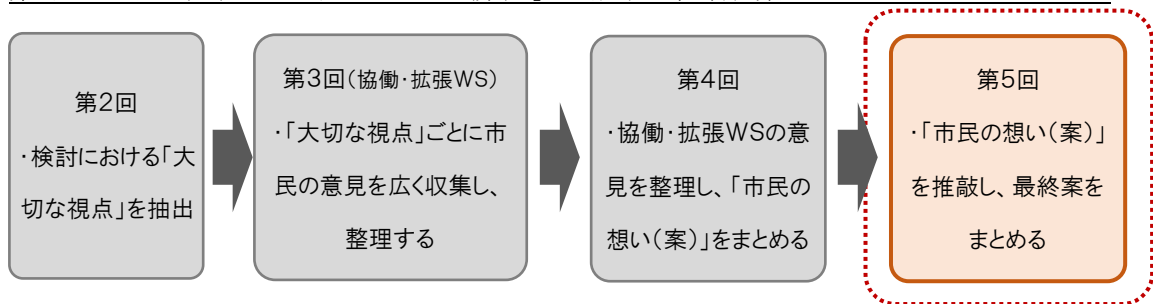


■ 第 5 回市民対話の報告

1. 全体の進め方と各回のテーマ

- 第1回 6/11（土） 顔合わせ、本庁舎整備方針に関する基礎情報の共有、現庁舎の見学
 第2回 9/3（土） 本庁舎のあり方を考えるうえでの「大切な視点」を定める
 第3回 10/10（月） 「大切な視点」ごとに市民の意見を広く収集し、整理する
 第4回 10/30（日） これまでの意見を「市民の想い（案）」として編集する
 第5回 12/4（日） 「市民の想い（案）」を推敲し、最終案をまとめる



2. 第 5 回市民対話の開催概要

日時 : 平成28年12月4日（日） 9時30分～11時30分

会場 : 鎌倉市役所 第4分庁舎822会議室

参加者 : 市民対話メンバー6名、神奈川大学学生5名

テーマ : 「市民の想い」を推敲し、最終案をまとめる

【全体対話】

- ・各章を読み合わせ、内容を皆で推敲する
- ・全体の構成について、改善に向けた意見を皆で出し合う
- ・出された意見をもとに、最終案をまとめる
- ・「市民の想い」を松尾市長に手渡す



読み合わせ・意見交換の様子



推敲の様子



市長に手渡し

3. 「市民の想い」の整理

第4回市民対話で編集した「市民の想い」の案を推敲し、最終案としてまとめた。全体構成や各章についての主な意見は次のとおりである。なお、当日欠席の市民対話参加者については、事前に資料を送付し、別途、意見をもらうこととした。

(1) 全体の構成等について

○全体の構成・ボリューム

- ・基本的な構成やボリュームは、概ね良い。

○タイトルの付け方・表現・性質

- ・Part1とPart3はやわらかい表現（縦書き）であるが、Part2はややかたい表現（横書き）となっている。
- ・各章のつながりや表現方法は、全体のバランスをみて調整してほしい。

○表現方法・書き方・伝え方

- ・内容がハード面に特化しているが、ソフト面も取り上げたい。
- ・読み手に大きな誤解を与えないような書き方にしたい。
- ・言葉を補足するために、コラム的な追記を入れる方法もある。
- ・市民にどう届けていくのかも重要である。

(2) 各章の内容について

○Part1. (仮) 本庁舎、こんな風に見えてます

- ・「暗い」などのネガティブイメージが多い。
- ・職員の対応など良いイメージも伝えたい。
- ・タイトルをみて、内容が推測できるもののほうがわかりやすい。

○Part2. (仮) 市民がもとめる本庁舎の姿とは？

- ・市民活動も含めた市民目線の書き方が望ましい。
- ・市民サービス向上のためにも職員の就業環境をアップさせるニュアンス。
- ・観光客の存在にも触れてほしい。
- ・「50年後」に限定するのではなく、「50年先、100年先」や「次世代、次々世代に向けて」としたい。

○Part3. (仮) ぶらっとうらかま

- ・「うらかま」の用語は意見の1つであり、市民には定着・浸透していないため、タイトルなどで使用するのを避けたい。
- ・現在地は、津波による浸水が予測されているため、「災害時にすぐ逃げ込める場所」とするには問題がある。